

国立公文書館
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

国際公文書館会議ソウル大会
パネル「アーカイブズと災害ー東日本大震災から5年を迎えた日本の対応」

日本の国立公文書館による被災公文書等への対応ー被災公文書等救援チームを事例に

独立行政法人国立公文書館
総務課企画法規係
筑 雅貴

All Rights Reserved Copyright © NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN 2016

国立公文書館
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

目次

1. はじめに
 1. 日本の国土と自然災害
 2. アーカイブズ関係者が直面する課題と対応
2. 被災公文書等救援チームの設置
 1. 設置の経緯
 2. 東日本大震災後の「被災公文書等修復支援事業」の経験
3. 被災公文書等救援チームの活動
 1. 情報の収集
 2. 保全に向けた技術的支援
 3. 関係機関・団体との連携、協力
4. おわりに

All Rights Reserved Copyright © NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN 2016

国立公文書館
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

1. はじめに

1. 日本の国土と自然災害

国土の特徴

- ・温帯に属する国土
→台風、大雨、大雪
- ・海洋プレートと大陸プレートの境界に位置する国土
→地震
- ・四方を海に包囲された国土
→津波
- ・環太平洋火山帯に位置する国土
→火山の噴火

世界に占める国土の割合0.25%に対して

- ・マグニチュード6以上の地震回数20.5%
- ・活火山数7.0%
- ・死者数0.3%
- ・災害被害額11.9%

(出典) 内閣府『平成22年度防災白書』

All Rights Reserved Copyright © NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN 2016

国立公文書館
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

1. はじめに

2. アーカイブズ関係者が直面する課題と対応

課題①
どのようにして、自然災害からアーカイブズ資料を守るのか

課題②
被災したアーカイブズ資料について、どのようにして、その損傷等を最小限にとどめ、その保全を図るのか

↓

多様なバックグラウンドを有する機関・団体による連携で対応

All Rights Reserved Copyright © NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN 2016

国立公文書館
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

1. はじめに

2. アーカイブズ関係者が直面する課題と対応

国立公文書館(NAJ)の事例

- ・東日本大震災で被災した公文書等の救援活動(被災公文書等救援事業)
- ・被災公文書等救援チーム(救援チーム)による救援活動

その他の主な事例

- ・被災後の被災文化財等救援委員会(専門機関から構成された団体)による救援事業(阪神・淡路大震災、東日本大震災)
- ・平常時から、文化庁(国の行政機関)と連携して非常災害時の文化財等の防災に関するネットワークの構築(文化遺産防災ネットワーク推進会議)

↓

NAJ救援チームの設置とその活動を中心に報告

All Rights Reserved Copyright © NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN 2016

国立公文書館
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

2. 被災公文書等救援チームの設置

1. 設置の経緯

①平成27年9月関東・東北豪雨(2015年9月9日~11日)

9月10日、常総市内を流れる鬼怒川が氾濫し、下流域が約40km²にわたり浸水

常総市役所の永年文書庫に浸水し、同庫に保存されていた同市の活動や歴史的事実を記録した行政文書が水損

越水箇所
壊壊箇所
鬼怒川
つくば市
常総市
市役所
推定最大浸水エリア

カビが発生している被災公文書等

虫喰いのある被災公文書等

(出典) 常総市「平成27年9月関東・東北豪雨による常総市被災状況」

All Rights Reserved Copyright © NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN 2016

2. 被災公文書等救援チームの設置

国立公文書館
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

1. 設置の経緯

②救援チームの設置 (2015年11月16日)

NAJ内での検討事項
・常総市の水損した行政文書等に対する対応

NAJ内での検討事項
・同様の事態が発生した際に、より積極的かつ迅速に活動することのできる体制の構築

↓

被災公文書等救援チーム(救援チーム)を設置し、常総市で活動へ

All Rights Reserved Copyright © NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN 2016

2. 被災公文書等救援チームの設置

国立公文書館
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

1. 設置の経緯

③救援チームの特徴

想定される活動事例
・被災公文書等に係る情報収集
・関係機関との連絡・調整
・被災公文書等の保全のために必要な支援

組織的な特徴
・保存や修復の専門家はもちろんのこと、関係機関との調整を担当する部門等から、組織横断的に編成
・迅速な対応を可能とするため、自然災害の発生ごとに設置するのではなく常設のチーム

All Rights Reserved Copyright © NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN 2016

2. 被災公文書等救援チームの設置

国立公文書館
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN


2. 東日本大震災後の「被災公文書等修復支援事業」の経験

①救援チーム設置以前の取組—被災公文書等修復支援事業


東日本大震災により、地方公共団体が保有する公文書等が被災(例 庁舎の倒壊に伴う破損。泥、粉塵、病原菌等の付着。浸水によるカビの発生)

↓

被災公文書等修復支援事業(2011年度～2012年度)



津波により水損した公文書等への処置事例
処置前



処置後

All Rights Reserved Copyright © NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN 2016

2. 被災公文書等救援チームの設置

国立公文書館
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

2. 東日本大震災後の「被災公文書等修復支援事業」の経験

②事業の実施

研修を通じた人材の育成
・被災公文書等を、地域の歴史を跡づける、いわば「地域のたから」であると位置づけ、早急に修復し、かつ、重要な歴史資料として保全・保存を行うことが喫緊の課題

関係機関との連携、協力等
・被災した地方自治体との連携
・東京文書救援隊(被災した資料を救援するために発足したボランティア団体)との協力*

※東京文書救援隊は、修復や保存の知識や技術を有しないものでも、効率的かつ安全に作業できる文書復旧システムを考案し、NAJは、被災公文書等修復支援事業において、このシステムを活用した。

↓

被災した地方自治体が、このような課題に早急に取り組む環境を整備するため、被災地のうちに人材を求め、被災公文書等の修復及び保全に係る技術研修を通じて、その育成へ

・全国の公文書館等との情報共有

All Rights Reserved Copyright © NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN 2016

2. 被災公文書等救援チームの設置

国立公文書館
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

2. 東日本大震災後の「被災公文書等修復支援事業」の経験

③事業の成果

	研修内容	実施場所
2011年度	水損による被災公文書等の洗浄及び乾燥に係る技術研修 ※東京文書救援隊が考案した復旧システムを活用	岩手県…山田町、陸前高田市 宮城県…気仙沼市、石巻市、仙台市
2012年度	水損による被災公文書等の洗浄及び乾燥に係る技術研修 破損した文書の繕いや裏打ちに係る技術研修	岩手県…陸前高田市、大船渡市 宮城県…気仙沼市、石巻市、女川町

↓

被災公文書等の修復及び保全を独自に行うことのできる人材を育成

↓

被災した地方自治体が、自らの手で、被災公文書等の修復及び保全に、継続的に取り組むことのできる環境を整備

All Rights Reserved Copyright © NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN 2016

3. 被災公文書等救援チームの活動

国立公文書館
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

1. 情報の収集

①全国の公文書館等との連携

茨城県立歴史館を通じて、公文書等の被災状況、被災公文書等の救援活動状況等にかかる情報の収集

↓

収集した情報とその分析により、救援活動の必要性を確認
救援活動を具体化するための現地調査へ

情報収集

↓

搬出 → 乾燥・仕分け → 洗浄 → 保全

常総市における被災公文書等の救援の流れ

All Rights Reserved Copyright © NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN 2016

3. 被災公文書等救援チームの活動

1. 情報の収集

②現地調査

被災状況及び救援活動状況の確認
 ・浸水した書庫から全文書の搬出を完了

常総市職員、関係機関の専門家との意見交換
 ・NAJによる救援活動のニーズを把握

・乾燥を行うとともに、紙質とカビの状態によって、被災公文書等を仕分け

↓

被災公文書等修復支援事業で用いた技術が利用可能であることを確認
 救援チームの派遣へ

現地調査

搬出 → 乾燥・仕分け → 洗浄 → 保全

常総市における被災公文書等の救援の流れ

All Rights Reserved Copyright © NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN 2016


3. 被災公文書等救援チームの活動

2. 保全に向けた技術的支援

①物理的な支援

技術的支援に先立ち、備品及び消耗品の提供
 ・早急に乾燥させるために必要な扇風機等の備品

・乾燥・仕分け作業を安全に行うために必要な消耗品



扇風機による乾燥

↓

物理的な支援

搬出 → 乾燥・仕分け → 洗浄 → 保全

常総市における被災公文書等の救援の流れ

All Rights Reserved Copyright © NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN 2016


3. 被災公文書等救援チームの活動

2. 保全に向けた技術的支援

②技術的な支援

被災した常総市が、水損した行政文書を早急に救援し、かつ、重要な歴史資料として保全・保存に取り組む環境を整備するよう、被災地の住民から、その救援及び保全に必要な技術を習得した人材を育成

	研修内容
2015年度	被災公文書等の洗浄及び乾燥に係る技術研修 ※東京文書救援隊が考案した復旧システムを活用
2016年度	破損した文書の繕いに係る技術研修



研修の様子

↓

常総市は、研修により育成した人材を活用することで、被災公文書等の保全に継続的に取り組んでいるところ

技術的な支援

搬出 → 乾燥・仕分け → 洗浄 → 保全

常総市における被災公文書等の救援の流れ

All Rights Reserved Copyright © NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN 2016

3. 被災公文書等救援チームの活動

3. 関係機関・団体との連携、協力

常総市の被災公文書等の救援に関わっている様々な機関

主な機関

- ・茨城県（教育委員会文化課、茨城県立歴史館）
- ・独立行政法人国立文化財機構
- ・大学共同利用法人人間文化研究機構国文学研究資料館
- ・茨城文化財・歴史資料救済・保全ネットワーク
- ・全国歴史資料保存利用機関連絡協議会
- ・NAJ

(出典)『常総市文書復旧ニュース』第4号

↓

常総市が設置している連絡会議に参加し（上記の機関の一部も参加）、関係機関との情報共有を図りながら活動

連絡会議

搬出 → 乾燥・仕分け → 洗浄 → 保全

常総市における被災公文書等の救援の流れ

All Rights Reserved Copyright © NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN 2016

4. おわりに

救援チームの設置

- ・NAJが有する専門的知見、技術を活用

関係機関との連携、協力等

- ・被災した地方自治体
- ・全国の公文書館等
- ・平常時から、文化庁（国の行政機関）と連携して非常災害時の文化財等の防災に関するネットワークの構築（文化遺産防災ネットワーク推進会議）

↓

我が国の歴史公文書等の保存及び利用の中核機関として、「地域のたから」の救援及び保全へ

<ご清聴ありがとうございました。>

All Rights Reserved Copyright © NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN 2016